



しんねん 新年におすすめの本



今年は「巳年」ですね。干支のお話やお正月におすすめしたい本を少し紹介します。

ブックランドだより

馬宮東小学校
令和7年1月10日
第7号



本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

冬休み中は、たくさんの本が読めましたか？冬休みに借りた本は、早く返すようにしましょう。

さて、ブックランドでは14日から図書委員による「本のおみくじ」を行います。今年初めの運勢を、本と一緒に楽しみましょう。



本のおみくじ



期間：1月14日（火）～2月7日（金）まで

時間：業間休みとお昼休み

「本のおみくじ」のやりかた

- ① 本を借ります。本を返すときに「おみくじ」が引けます。（冬休みの本を返す時はできません。）
- ② 「おみくじ」に書いてある番号を、図書委員に伝えます。
- ③ 図書委員からもらった本を、借りてください。（もう1冊は自分の好きな本が借りられます。）
大吉が出たら本のカバーで作った“エコバック”をプレゼント、その他は“もう1冊借りられます券”をプレゼントします。

※「本のおみくじ」は、なくなり次第終了になります。

デザートのおはなし給食



先日は Teams でのアンケートに御協力、ありがとうございました。

アンケート集計で選ばれたデザートは、絵本『へんしんへんしんフルーツポンチ』より「へんしんくだもののフルーツポンチ」に決まりました！

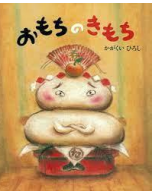
こちらは、2月の給食メニューに出る予定です。「デザートのおはなし給食」をどうぞお楽しみに！！

『おもちのすきなへびのおふじ』 谷 真介／文 佼成出版社

へびのおふじはお餅が大好きで、ぐんぐん大きくなりました。しかし、村人に怖がられたおふじを、おじいさんとおばあさんは泣く泣く山へ捨てました。ある日、おふじは池に落ちた庄屋の娘を助けます。次の日、庄屋さんはおふじの好きなお餅をたくさん持って、お礼にきて…。十二支のむかしばなしシリーズ。

『おもちのきもち』 かがくい ひろし／作 講談社

たごさくさんちのお餅つきで、気がつくとなんとも何度も頭をたたかれ、兄弟たちはプッチンとちぎられ、あんこやだいこんのおろしづけになったりしていました。そこで、わたくし「かがみもち」は、食べられる前に逃げ出すことにしたのです…！



『和の行事えほん 秋と冬の巻』 高野 紀子／作 あすなろ書房

正月飾り、お節料理、初詣などお正月行事の由来と意味を知ると、お正月ももっと楽しめます。9月から2月までの「和」の伝統行事と季節の楽しみをイラストと共にわかりやすく紹介しています。

『落語絵本 はつてんじん』 川端 誠／作 クレヨンハウス

お父さんは、新年に金坊を連れて初天神に行くはめになりました。金坊はそこで凧を買って欲しいとねだり、凧を買ってもらいました。さっそく金坊は広場で凧をあげようと思いますが、人が多くて凧をうまくあげられず、お父さんと交代しますが…。

『おせちいっかのおしょうがつ』 わたなべ あや／文 佼成出版社

大晦日、家族みんなでお節の準備が始まりました。実は、重箱の中のおせち一家も年越しそばを食べ、年越し準備を始めていたのでした…。さて、おせち一家はどんなふうにお正月を迎えるのでしょうか…？おせち料理の名前の由来も紹介しています。

『しめかざり』 森 須磨子／文・絵 福音館書店

お正月に飾るしめかざりは、家に「年神様」というお正月の神様をお迎えするため。作る人や地域によって、様々な特徴のしめかざりがあります。広島県の安芸の宮島の大きなしめかざり、山形県鶴岡市の俵の形をしたしめかざりなど、たくさん紹介しています。

